

奈良県のタクシーの現況 令和6年9月

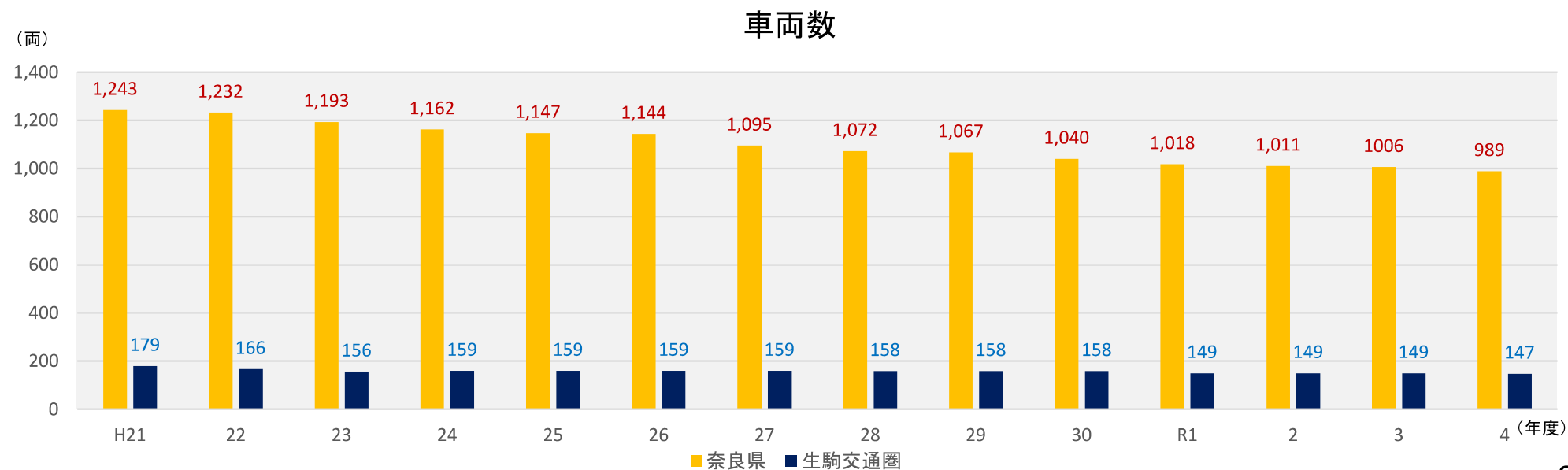
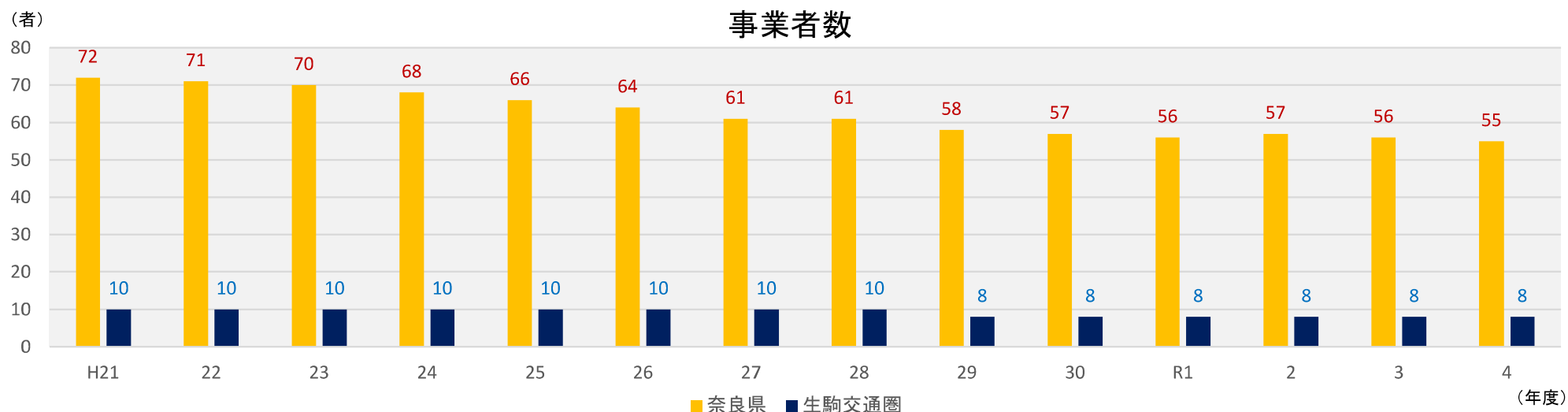
生駒交通圏 版



国土交通省 近畿運輸局 奈良運輸支局

1. 供給力の動向(事業者数・車両数の推移)

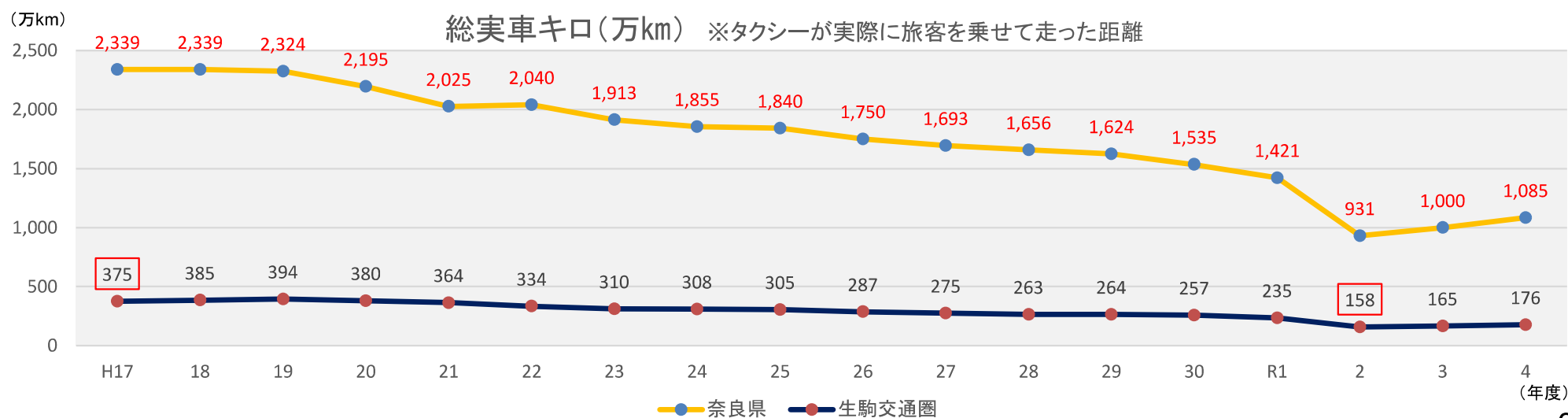
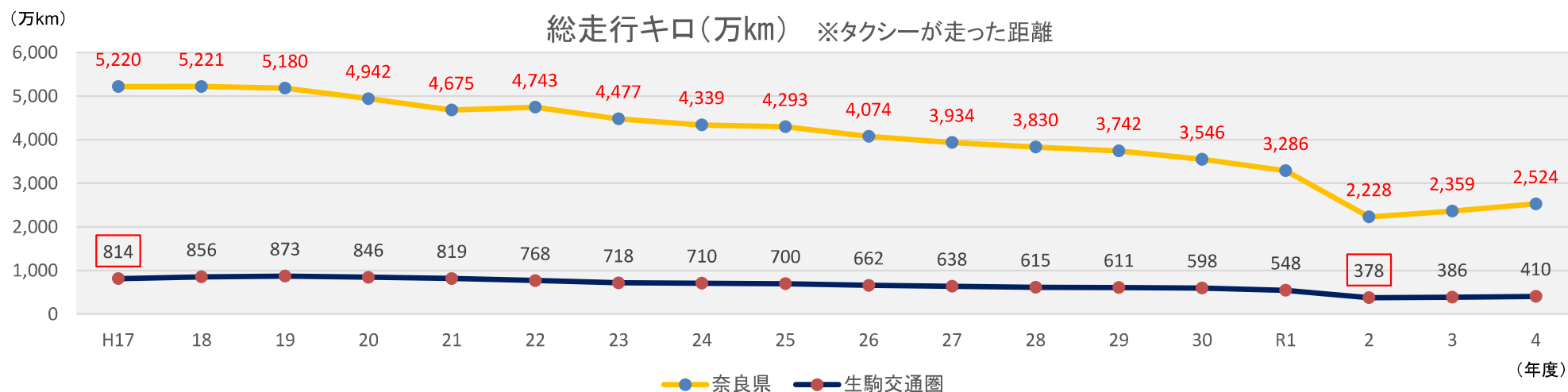
事業者数、車両数はともに減少している。



2-1. 需要の動向等(走行キロの推移)

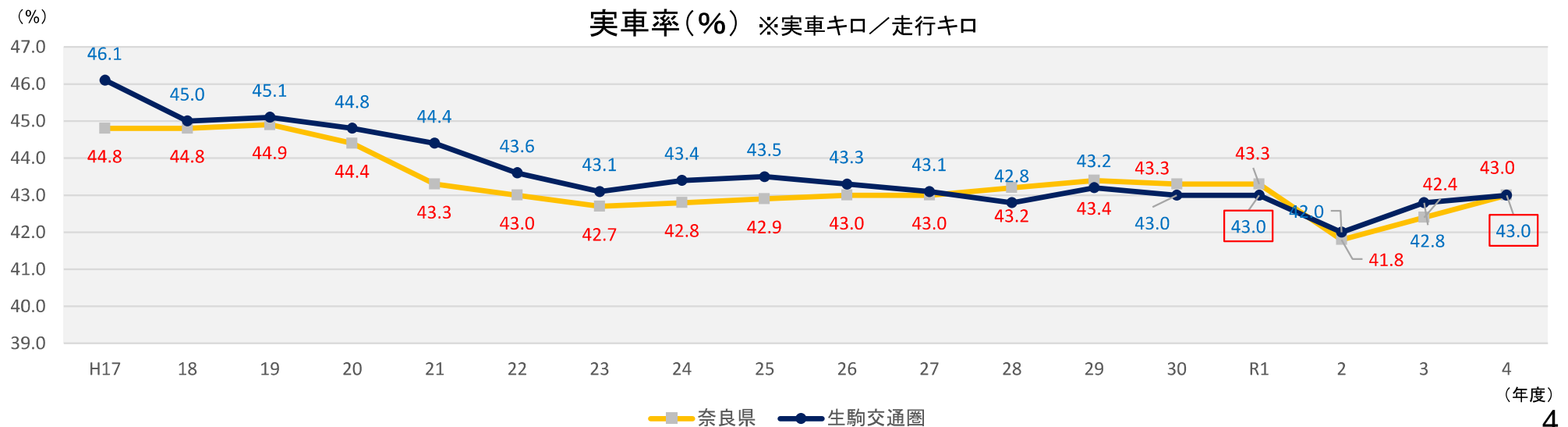
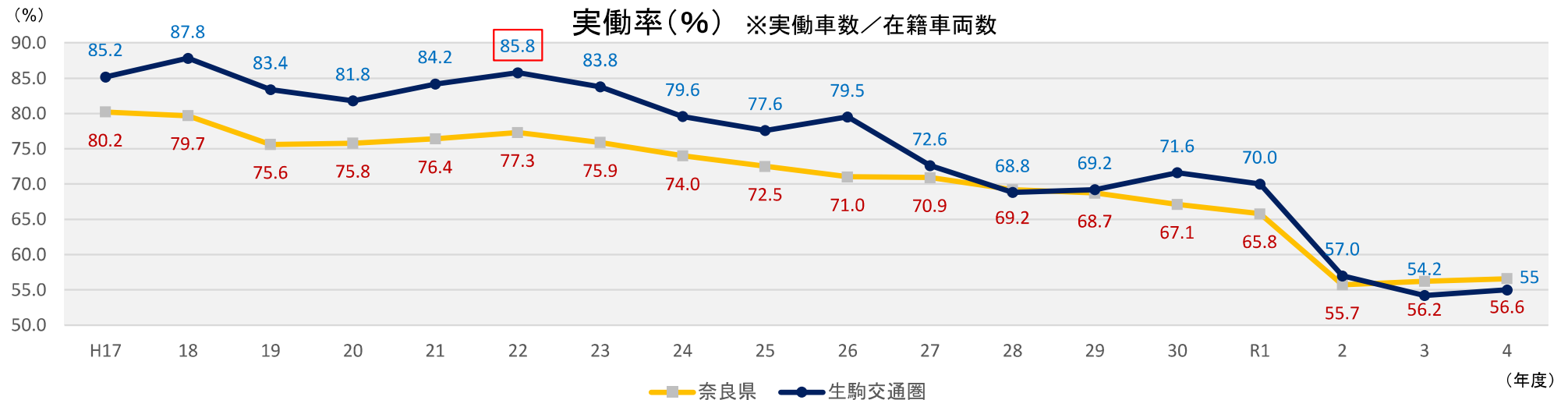
○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度の実績は、平成17年度との比較で総走行キロは46.4%、総実車キロは42.1%と厳しい状況となっている。

○令和3年度以降も横ばい傾向。



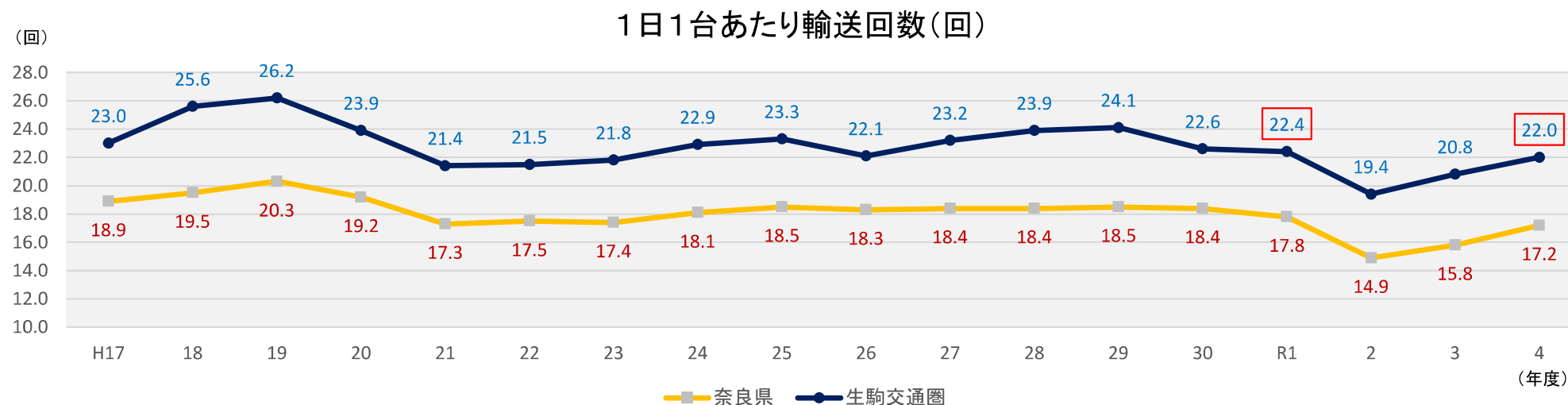
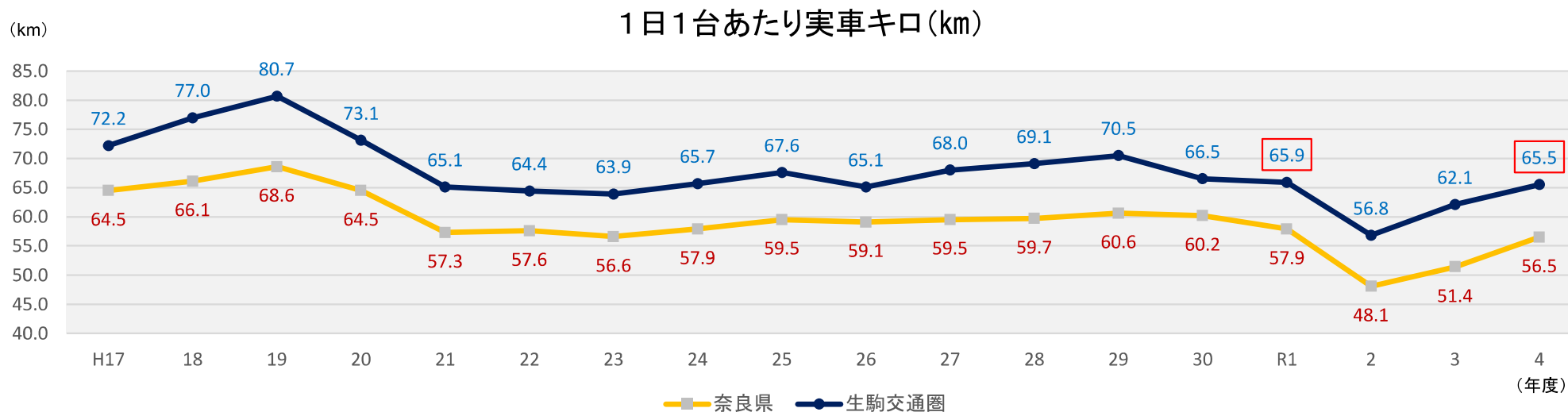
2-2. 需要の動向等(実働率・実車率の推移)

○稼働状況を表す実働率は、平成22年度以降減少傾向。令和2年度はコロナで一気に減少。
○走行距離のうち旅客を乗せて走行した割合を示す実車率は、コロナ前と同水準まで回復。



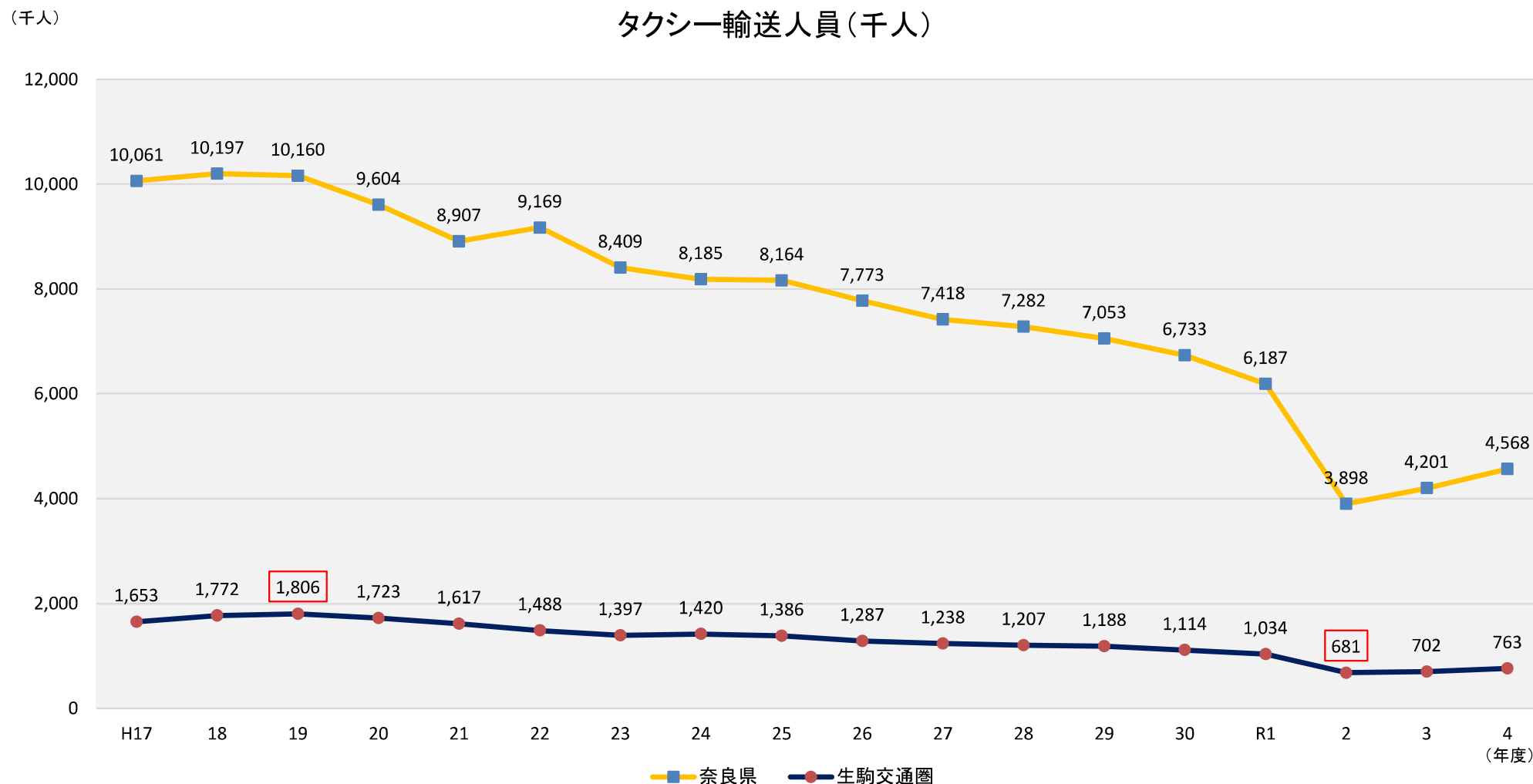
2-3. 需要の動向等(1日1台あたり実車キロ等)

1日1台あたり実車キロ、輸送回数ともにコロナ禍により減少したが、令和4年度にコロナ前(R1)の水準まで回復。



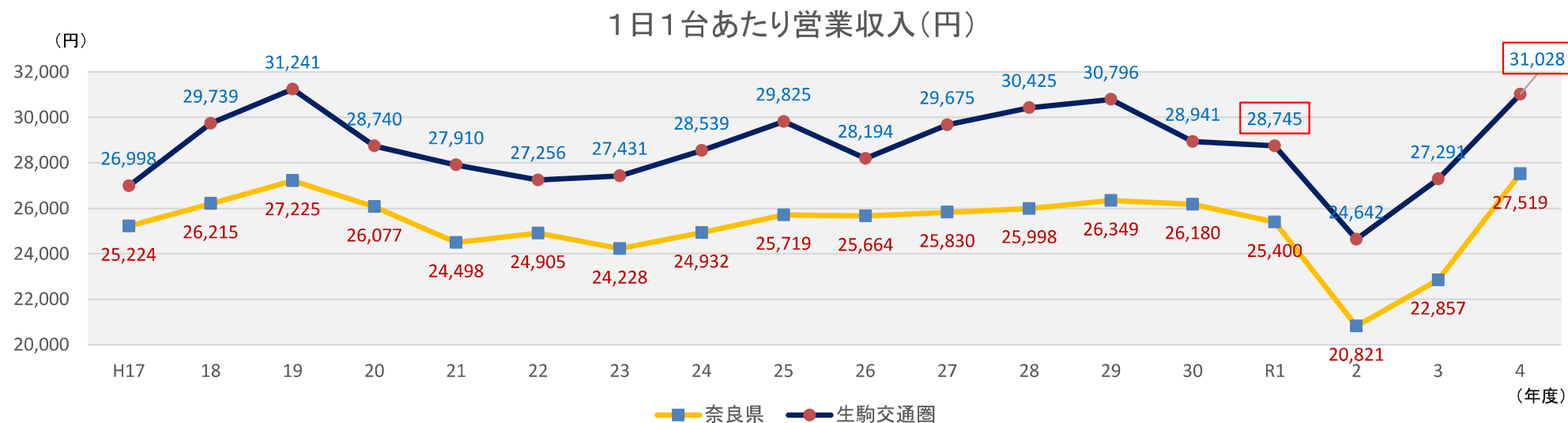
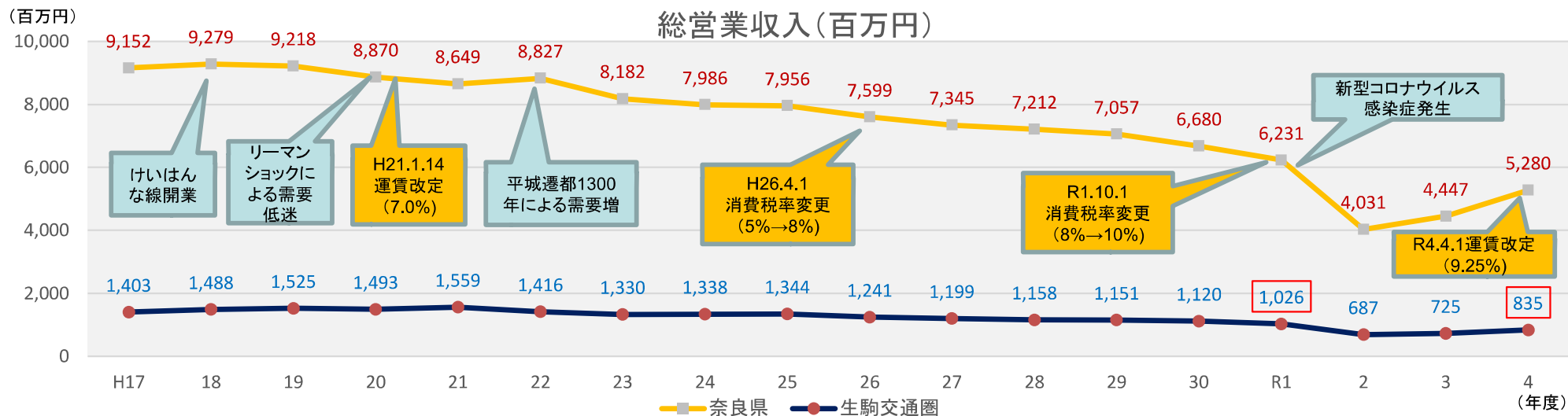
2-4. 需要の動向等(輸送人員)

平成19年度以降、減少傾向にあったが、コロナ禍の令和2年度の輸送人員は、平成19年度との比較で37.7%と、厳しい状況となっている。



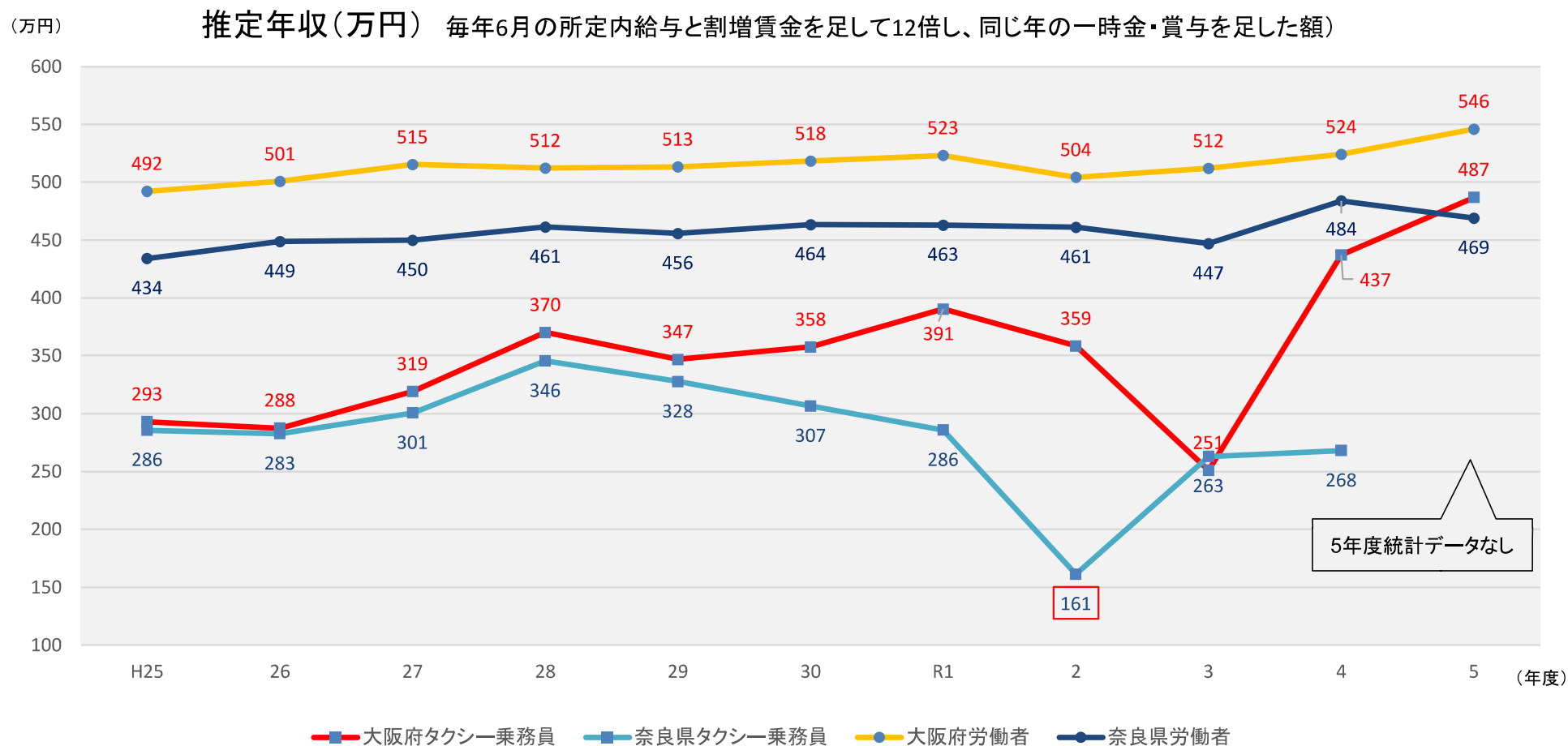
3. 収入の推移

1日1台あたり営業収入は、コロナ前を上回る回復を見せているが、総営業収入はコロナ前までの水準には回復していない。



4. 運転者の労働環境(運転者の賃金)

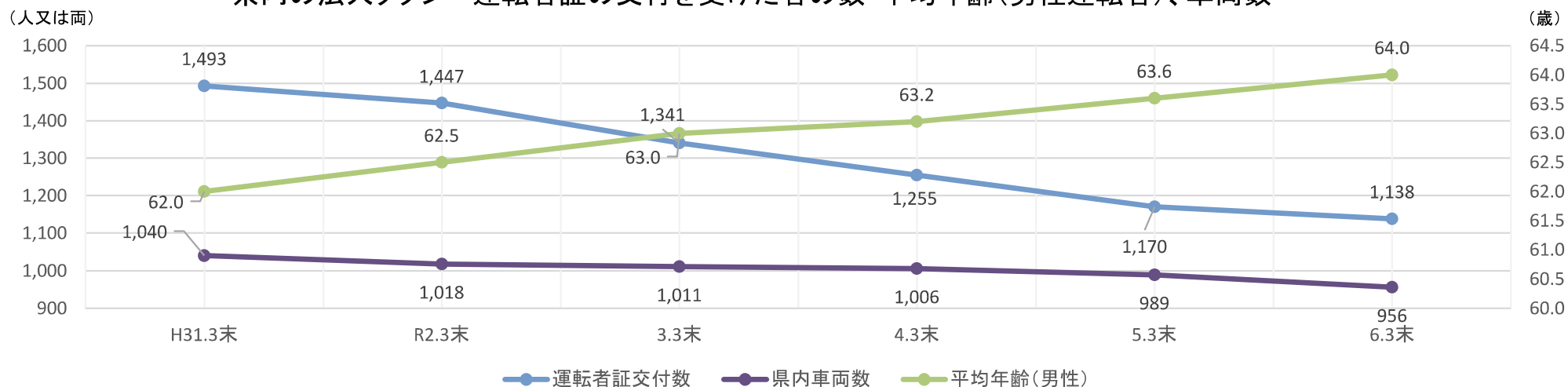
○全労働者との差は大きい。奈良県においては、特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、さらに厳しい状況となっている。
○大阪府のタクシーは、令和4年度以降上昇傾向にある。



5. 法人運転者証の交付枚数等と年齢構成比

- 交付数・車両数は年々減少傾向にあり、平均年齢は高くなっている。
- 70歳以上に対する交付が3割を超えている。

県内の法人タクシー運転者証の交付を受けた者の数・平均年齢(男性運転者)、車両数



県内の法人タクシー運転者証の交付を受けた者の年齢別構成比(全運転者)

